

2018

ぶうげん

7

月号

No.300

びりあ



小笠原立母島小中学校 学校だより

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

未来への準備

副校長 中岡 理和

寝不足の方、多いのではないのでしょうか？サッカーのワールドカップが開催され毎夜、熱い戦いが繰り広げられています。その中でも日本の快進撃は目覚ましく、コロンビア戦での勝利は「小さな奇跡」と世界に衝撃を与えたようです。そんな日本代表選手の一人本田圭佑選手が、かつてこんなことを言っていました。「勝負を決めるのは準備。なかでも気持ちの準備以上のものはないと思う。」『準備』の大切さを考えさせられたことを覚えています。

では、教育の面での『準備』とは何でしょうか。日本の教育には学習指導要領というものがあります。学習指導要領とは学校教育法施行規則に基づき、学校の教育課程の基準として定められているものです。各学校はこれをもとに教育課程を作成し、指導にあたっています。その学習指導要領の改訂がだいたい10年ぐらいのスパンで行われています。その際に考えられているのはその10～20年先の社会変化です。その見通した内容をもとに社会で必要とされる能力がどのようなものであるかを考え、改訂作業を行っています。つまり、学習指導要領改訂とは10～20年先の社会変化に対応するための『準備』なのではないかと考えられます。

それでは、現在から10～20年先の社会変化はどのように予測されているのでしょうか。労働環境面についてこんな予測がされています。現在ある職業のうち49%がなくなる。もしくは機械に代替される。また、65%の子供が今は存在していない職業に就く等です。つまり今の子供たちは現在からは予測のできない不透明な社会を生きていくことになるのです。

2020年、新学習指導要領が始まります。この改訂では「子供たちに、情報化やグローバル化など急激な社会的変化の中でも、未来の創り手となるために必要な知識や力を確実に備えることのできる学校教育の実現」をしていくことを目指しています。これらの実現に向けて、「何を教えるか」という知識の質や量の改善はもちろんのこと、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視することが必要であるとされています。そして、学校の授業においても「主体的・対話的で深い学び」が求められています。本校でも日々、授業改善に取り組んでいきます。

6月は校外学習がたくさん行われました。乳房山や南崎、平島などに引率をしました。子供たちがただ自然を楽しむのではなく、自然を教材として一生懸命に学んでいる姿が印象的でした。幼児期から青年期までの発達段階に応じた、豊かな生活・学習体験に裏付けられてこそ「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」が実現するといわれています。母島小中学校の子供たちも2020年に向け着々と『準備』が進んでいると感じています。

まもなく1学期の終業式です。これまでのがんばりを振り返り、ご家庭で会話をしていただき、「次」に向けての『準備』をお願いいたします。

無人島での生活。「ロビンソン・クルーソー」や「十五少年漂流記」などの小説を読んで憧れをもち、「平島移動教室」を経験した生徒や教員から聞く話で、その憧れを強くしていた。「いつか自分も…」と思い続けて夢にまで見た「平島移動教室」は、二日間とも晴れ渡った空と穏やかな海で、舞波さんに小笠原の自然の魅力を全力でぶつけようとしているようだった。



エアコンもなく、日よけとなる場所も限られる環境での「漁業実習」「テント設営」「植生調査」「食事の準備」…、学習もしつつ生活するためにやらなければならないことが目白押しの中で体力面を心配していたが、自然の中の舞波さんは誰よりも元気で平島の自然を楽しみ、躍動していた。「漁業実習」では、一人でアカバを何匹も釣り上げ、最後の一投では大物ツチホゼリ。釣りの勝負を申し込み正直、勝つつもりだったが圧倒的な負けだった。「食事の準備」では、そのツチホゼリと長時間格闘してさばいた舞波さん。もしかして今回一番疲れた作業になったのではないだろうか。



夜。遠くに見える母島の灯りと空に広がる満天の星空の下で、島民に届けと積み上げて燃やしたキャンプファイヤー、そして焼きマシュマロにはまる舞波さん。あんなにマシュマロにはまるなんて…、学校では見られない一面を見ることができて素敵な時間を過ごすことができた。

母島に帰る途中ではイルカの群れにも出会うなど、まるで自然がこの移動教室の思い出を最高のものにしようと演出しているかのような素敵な出来事の連続。小笠原の自然の雄大さと全力で向き合うことができた最高の移動教室だった。また、行きたいな。

魅力いっぱい！父島移動教室

小笠原諸島をインターネットで画像検索すると、母島の小富士からの眺望と南島の扇池が多いのではないのでしょうか。小笠原に住む島民としてこの二つは行ったことがあると言いたいものです。今年の6年生は父島に観光で行ったことがある子が少なく、南島に上陸したことがある子は一人もいませんでした。その為、今回の移動教室の期待度は非常に大きかったようです。天気にも恵まれ無事南島に上陸し、扇池を一望できる丘から島全体を見下ろしたとき、ある子が「なんて美しい景色なんだ。」と自然と口にしていました。空の青さと海の青さ、輝く砂の美しさに興奮しながらもその景色の美しさを全身で感じる事ができたようです。



今年の6年生は生き物が好きな子が多く、オガサワラオオコウモリを近くで見ることができることにも大きな期待を寄せていました。母島ではほとんど見る事ができませんが、父島で観測したところ百頭以上を見ることができました。また、小笠原自然文化研究所で保護しているオオコウモリにも直接触れさせてもらうなど貴重な経験をさせていただきました。



その他にも、シーボーンアート、電波望遠鏡、水産センター、気象庁などで様々なことを体験し、とても充実した3日間になったようです。帰りの船中では母島が見えると



「やっぱり母島の方が落ち着くね。」と口々に言い出し、6年生の母島愛の深さも見る事ができました。

南崎校外学習

小学校2年担任 海野 浩也

6月8日（金）に小学校1・2年生で南崎校外学習に行きました。事前学習では、植物かるたや植物クイズの学習を通して、たくさんの植物とその特徴を覚えました。

当日は「しょくぶつビンゴカード」を片手に、次々と植物を見つけました。「あった！オガサワラビロウだ！」「イチビ見つけた。」と順調に活動してましたが、途中で「ジュズサンゴがない！」と気付き、植物に注意しながら歩きました。結局、南崎のゴール地点で見つかり、安心してお昼ご飯を食べることができました。

今回の南崎校外学習では学校外からも先生方をお招きして活動しました。東京都レンジャーの竹中さんには、事前学習で南崎の特徴を教えてくださいました。稲垣先生には植物ビンゴを作ってくださいました。お二人には当日も植物の名前の由来や特徴などをたくさん教えてくださいました。

小富士から眺めた母島の様子や南崎の湾の美しい風景など、自然を体いっぱいに感じました。



平島校外学習

小学校5年担任 福島 かをる

朝から天気がよく、絶好の校外学習日和でした。前日まで波が高く、もしかして延期になるかも・・・という中でしたが、無事に実施することができました。

この校外学習に向けて、事前学習で東京都のレンジャーさんや林野庁の方に平島についてのお話をうかがいました。平島でのルールや植物や生き物のことを教えてくださいました。

当日は、4、5年生8名全員そろって、沖港を出発。船長の佐々木さんをはじめ、神徳丸の方々にお世話になりました。平島に向かう途中、イルカの群れと出会い、しばしイルカたちの泳ぎを観察することができました。平島のブイに到着し、伝馬船に乗り換えていよいよ上陸です。波もそれほど高くなく無事に到着することができました。

さっそく島探検。許可がないと入れない雑木林の中に入り、ジュズサンゴやパイナップルなど外来種の植物がたくさんあることを改めて確認しました。外来種の駆除作業をしました。30分位の間にもってきたごみ袋が足りなくなるほど駆除しました。

そしていよいよカレー作り。2班に分かれて行いました。煮込んでいる間の時間を利用して、磯探検へ。昼食は自分たちで作ったカレー。おかわりをしてたくさん食べました。

午後からは磯遊びとシュノーケリングです。少し潮の流れの速いところもありましたが、魚もたくさんいて、観察することができました。

帰りの時刻が近づき、あっという間の平島での時間でした。平島での体験が、母島を誇りに思う気持ちにつながれば、と思います。



7月の生活指導

生活目標

「1学期を振り返り、
夏休みの目標を立てよう」

- ・1学期の反省をして、新たな目標を立てよう。
- ・夏休みの計画をしっかりと立てよう。
- ・日頃できないことに挑戦しよう。

安全指導 3日(火)

「安全に気を付けた遊び方」が重点目標です。

夏休みの前に、つりや磯遊び、海水浴、花火など楽しい遊びの中に潜む危険性について考えさせ、約束を守り、安全に行動できるように指導します。

避難訓練 4日(水)

地震が発生した場合を想定した避難訓練を行います。机の下にもぐる、頭部や身を守る姿勢など地震の際に安全確保の行動が確実に冷静にできるよう訓練を行います。

避難するときの約束「お・か・し・も」

海水泳について

本年度、**全3回**を予定していました海水泳ですが、プールでの指導が実施できるようになったため例年通りの**全2回**にさせていただきます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

夏休みの図書館開放

本年度の母島小中学校夏季休業中の図書室一般開放は7月23日(月)からとなります。

開放期間：7月23日(月)～8月31日(金)
(土、日は除く)

開放時間：午前9時00分～午後12時00分
午後1時30分～午後4時30分

※上履きをご持参ください。

小学校サマースクール・中学校学習教室

期間 7月23日(月)～7月26日(木)

8月27日(月)～8月30日(木)

登校 午前8時15分 小学校

午前8時00分 中学校

時間 午前8時30分～9時30分 小学校

午前8時15分～9時30分 中学校

夏季水泳教室

前期 7月23日(月)～7月26日(木)

後期 8月27日(月)～8月30日(木)

登校 午前9時45分 **下校** 午前11時15分

※時間に余裕をもって、安全に登校するようにしてください。

7月の主な行事予定

7月の主な行事予定			16	月	海の日
1	日	開校記念日 50周年祝賀行事	17	火	朝礼(保健指導)
2	月	振替休業日	18	水	
3	火	朝礼(安全指導) 保護者会(小4～6) 父母交流会説明会	19	木	大掃除・周辺美化
4	水	避難訓練 保護者会(中) デザートの日 海水泳(中)	20	金	終業式
5	木	東京都学力調査(小5、中2) 保護者会(小2、3)	21	土	
6	金	行事前検診(小4～6) 保護者会(小1)読書週間終	22	日	
7	土		23	月	夏季休業日始 夏季水泳教室始 学習教室(中) サマースクール小始
8	日	父母学習交流会始(小4～6) 英検2次	24	火	
9	月	中朝礼	25	水	
10	火	父母学習交流会終(小4～6) 行事前検診(中) 小笠原高校進路説明会	26	木	夏季水泳教室終 学習教室(中) サマースクール(小)終
11	水		27	金	
12	木	父母学習交流会始(中)	28	土	
13	金		29	日	
14	土	父母学習交流会終(中)	30	月	
15	日		31	火	

SC 在島